

令和5年度 第1回

足寄町総合教育会議議案

日時：令和5年12月21日

午前10時00時

場所：町民センター 会議室3

足 寄 町

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 町長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 足寄町の部活動地域移行に関する中間報告について
 - (2) 足寄町教育大綱について
 - (3) 令和6年度主な総合計画計上事業について
 - (4) その他
- 4 閉会

協議事項

- (1) 足寄町の部活動地域移行に関する中間報告について

足寄町の部活動地域移行に関する 中間報告

【検討協議会の経過】

足寄町教育委員会教育総務室

足寄町の部活動地域移行に関する中間報告

●学校部活動の現状

これまで、部活動は参加する生徒にとって、スポーツや文化芸術等の活動を通じて、学習とは異なる集団での経験や人間形成、豊かな学校生活を実現する場として重要な役割を担ってきました。

一方で、現在、全国的に少子化が進み、本町でも各学校単位で部活動を維持することが困難になったり、活動・指導経験のない教員が部活動を指導せざるを得なくなったりすることで、生徒の多様なニーズに応じた指導が難しくなっています。また、部活動の地域移行を進めることで、学校における働き方改革を推進し、学校教育の質の向上を図ることが喫緊の課題となっています。

●国が示す部活動の方向性

文部科学省（スポーツ庁・文化庁）では、これらの課題を解決するため、少子化が進む中でも生徒にとってより良い活動環境を構築するとともに、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を進めるため、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として、中学校部活動のうち、休日の活動について段階的に地域移行していく方針を示しています。

なお、国においては、将来的に平日の部活動も地域移行することを想定しています。

※ 当面、平日の部活動は学校部活動として活動を継続します。

●足寄町における部活動の地域移行に関する考え方

文部科学省では、地域の人材が指導するこれからの新しい活動を「地域クラブ活動」と表現しています。部活動と地域クラブ活動では、その位置付けや管理運営、指導者及び保護者負担等が変わってきます。

地域クラブ活動の運営主体としては、既存のスポーツ・文化芸術団体と足寄町が連携を図りながら実施する方法が考えられますが、文部科学省のガイドラインでは、総合型地域スポーツクラブや保護者会なども想定されると示されており、本町にあった形をつくっていく必要があります。

区分	学校部活動	地域クラブ活動（休日）
位置付け	学校教育の一環 （教育課程外）	学校と連携して行う地域クラブ活動
管理運営	学 校	・ 地方自治体 ・ 多様な組織・団体（総合型地域スポーツクラブ、 スポーツ少年団、体育協会、民間事業者、文化 芸術団体など）
指導者	教 員	地域の指導者 （参加を希望する教職員を含む）
保護者負担	個人で使う用具、交通費 等の実費	左記に加え、指導者への指導料や学校以外の施設 使用料、保険料等
活動場所	主に学校	学校やスポーツ施設、文化芸術施設、民間事業者 等の有する施設など

●地域移行コーディネーターの配置

令和5年4月1日より、部活の受け皿となり得る町内のスポーツ団体、文化芸術団体、指導者と学校をつなぐ「部活動地域移行体制整備総括コーディネーター」が配置されました。

●足寄町部活動地域移行検討協議会の発足

足寄町部活動地域移行検討協議会設置要綱(令和5年6月14日教育委員会要綱第1号)に基づき、令和5年6月29日には足寄町部活動地域移行検討協議会が設置されました。

任期：自 令和5年6月29～至 令和6年3月31日

協議会委員長	宇野 浩	(足寄町体育協会 会長)
協議会副委員長	沼田 正俊	(足寄町立足寄中学校 PTA会長)

委員	中井 哲	(足寄町立足寄中学校 校長)
委員	大宮 秀夫	(足寄町立足寄小学校 校長)
委員	福田 知征	(足寄町立足寄小学校 PTA会長)
委員	渋谷 圭	(北海道足寄高等学校 校長)
委員	阿部 智一	(足寄町スポーツ少年団本部 本部長)
委員	阿部 嘉宏	(足寄町文化協会 会長)
委員	小松 洋一	(足寄町社会教育委員 委員長)
委員	松本 憲治	(足寄町スポーツ推進委員 委員長)

●協議会開催

第1回 令和5年6月29日 午後4時00分～午後4時30分

主な協議内容

- 協議会委員長及び副委員長の選出
- 部活動地域移行に関する概要説明
- 足寄町の地域移行に関する考え方について
- 検討協議会スケジュールについて

第2回 令和5年10月6日 午後3時00分～午後4時30分

主な協議内容

- 部活動地域移行の道内外実践事例紹介
- アンケート結果について
- 足寄町のスポーツ・文化団体の活動状況について
- 中学校の部活動顧問の指導状況について
- 今後のスケジュールについて

第3回 1月上旬予定 午後3時00分～

主な協議内容

- 少年団指導者との協議結果
- 部活動地域移行の周知活動について
- 池北三町学校部活動地域移行情報交換会の開催結果

●アンケートの調査結果

調査対象 町内小学校5・6年の保護者、中学校生徒及び保護者、中学校教職員
調査期間 令和5年8月24日～令和5年9月13日
標本数 405
回収数 307 (回収率 75.8%)
調査結果 別紙のとおり

●今後の取組予定

部活動の地域移行を進めるにあたり、本町の子どもたちにとって、良質で持続可能な活動環境を整備していく必要があります。

文部科学省（スポーツ庁・文化庁）や北海道教育委員会の動向を踏まえながら、近隣自治体や少年団、コミュニティ・スクールとも連携を図ることで、可能な部活動から地域移行を進めていくこととしています。

令和5年度

1月13日	池北三町学校部活動地域移行情報交換会	進捗報告・情報交換等
1月20日	足寄町スポーツ少年団指導者情報交換会	活動状況確認・制度説明
1月上旬	第3回検討協議会	協議及び会議の開催報告・周知方法協議
1月中旬	広報・啓発	文案作成・回覧配布・HP掲載

令和6年度

地域移行の実証（可能な部活動から）
指導者の確保
指導体制の確認

令和7年度

地域移行の実践、検証
指導員の確保
指導体制の確認
アンケートの実施
合同チームの可能性協議

足寄町の部活動地域移行に関する 中間報告

【中学校部活動の地域移行について アンケート集計結果】

足寄町教育委員会教育総務室

足寄町部活動の地域移行についての調査（集計結果）

1. 目的

足寄中学校の生徒にとって望ましい部活動環境の構築及び中学校の教職員における働き方改革の実現を図る観点から、部活動の実態や部活動地域移行の対象となる生徒、その保護者、教職員の行動や意識にどのような特性があるのか、また、そのニーズを的確に把握するため。

2. 調査対象及び内容

調査対象については次のとおり。地域移行期間中に中学生となる足寄町立小学校児童の5・6年生の保護者も対象に加え、アンケート内容は教職員用・生徒用・保護者用の3分類とした。

- (1) 足寄中学校教職員
- (2) 足寄中学校の生徒（全学年）及びその保護者
- (3) 足寄町立小学校児童5年生・6年生の保護者

3. 調査方法

中学校・小学校（4校）へ依頼し、対象者へ配布

調査期間 令和5年8月24日～9月13日

配付部数 405部

回収部数 307部（回収率75.8%）

うち生徒	128部	（回答率	89.5%）
うち教職員	17部	（回答率	68.0%）
うち保護者	162部	（回答率	68.4%）

4. 調査実施機関

調査機関 足寄町教育委員会教育総務室

5. 調査結果について

各設問の回答比率（%）は小数点以下第2位を四捨五入とし、小数点第1位まで表示しています。そのため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。

なお、自由回答は原文のまま掲載しています。

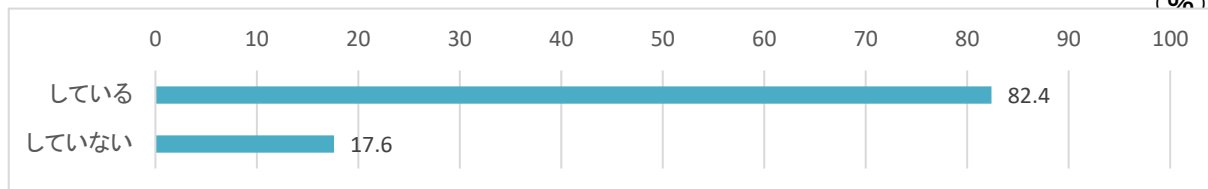
中学校部活動の地域移行についてアンケート集計(教職員)

- 配布部数 25部
- 回収部数 17部 (回収率 68.0%)

1. 部活動を担当していますか。

している	14人	82.4%
していない	3人	17.6%
合計	17人	100%

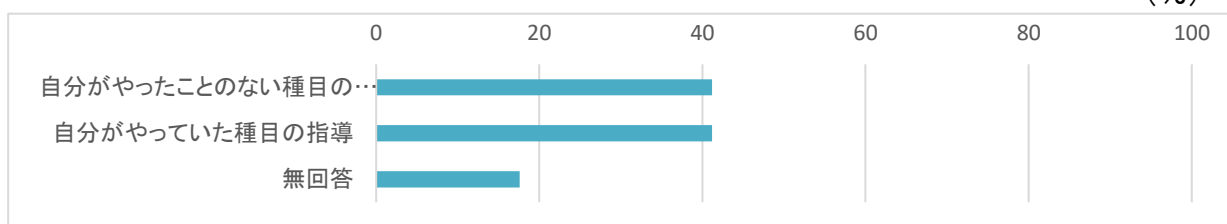
(%)



2. 担当している部活動の指導経験について。

自分がやったことのない種目の指導	7人	41.2%
自分がやっていた種目の指導	7人	41.2%
無回答	3人	17.6%
合計	17人	100%

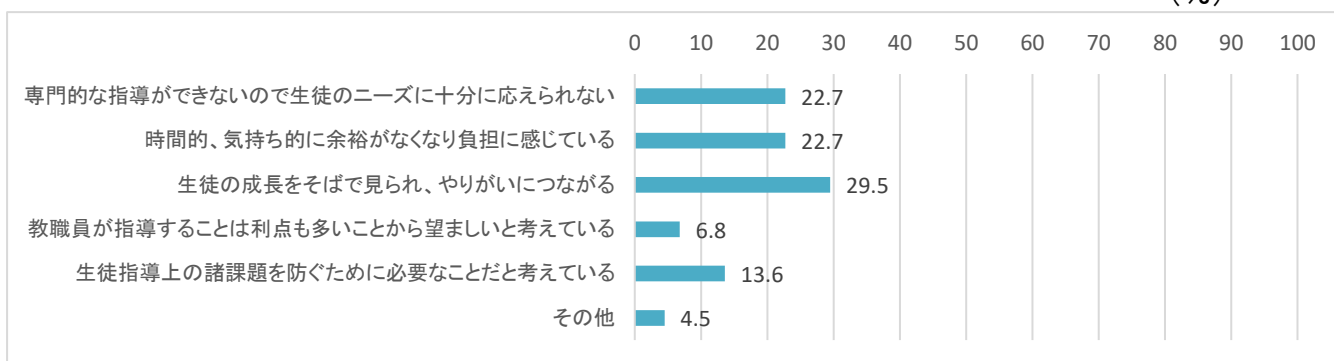
(%)



3. 部活動の指導を教職員が行うことについてどう思いますか。※複数回答可

専門的な指導ができないので生徒のニーズに十分に答えられない	10人	22.7%
時間的、気持的に余裕がなくなり負担に感じている	10人	22.7%
生徒の成長をそばで見られ、やりがいにつながる	13人	29.5%
教職員が指導することは利点も多いことから望ましいと考えている	3人	6.8%
生徒指導上の諸課題を防ぐために必要なことだと考えている	6人	13.6%
その他	2人	4.5%
合計	44人	99.8%

(%)

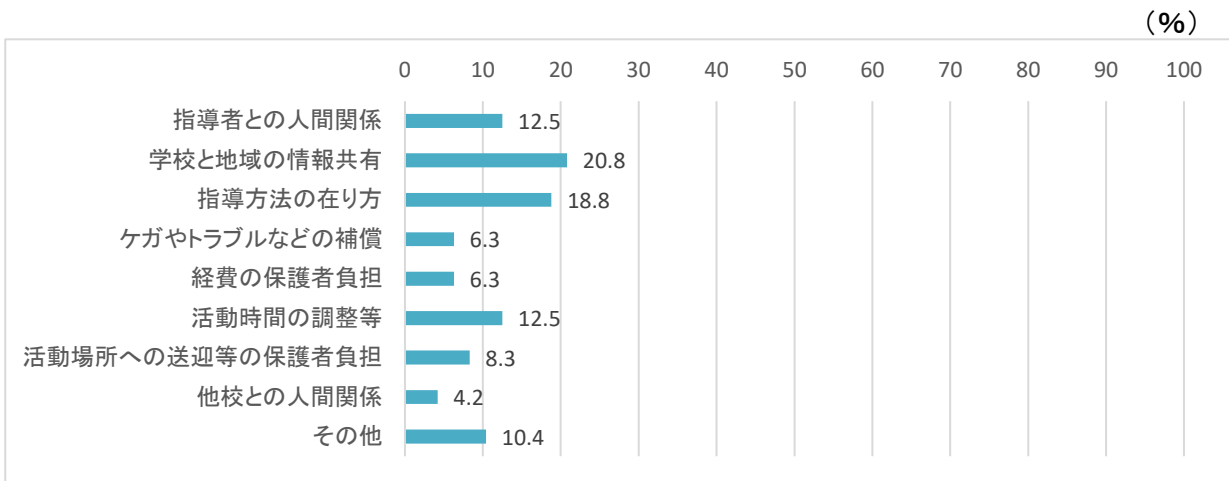


【その他】

- ・ 教職員の長時間労働の原因の一つである。
- ・ 日本独特の文化で諸外国にはあまりないシステム。教員になってから当たり前としてやっているので諦めている。

4. 学校部活動での心配なことは何ですか。※複数回答可

指導者との人間関係	6人	12.5%
学校と地域の情報共有	10人	20.8%
指導方法の在り方	9人	18.8%
ケガやトラブルなどの補償	3人	6.3%
経費の保護者負担	3人	6.3%
活動時間の調整等	6人	12.5%
活動場所への送迎等の保護者負担	4人	8.3%
他校との人間関係	2人	4.2%
その他	5人	10.4%
合計	48人	100.1%

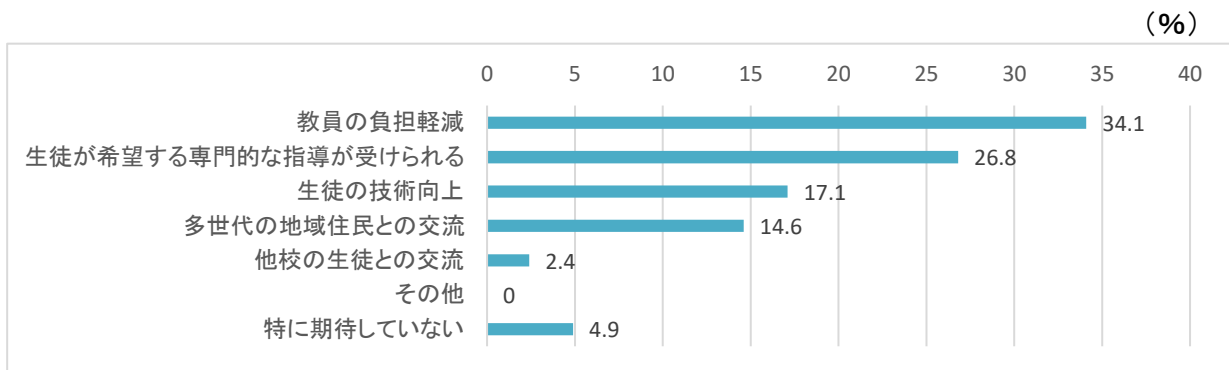


【その他】

- ・ 人材確保。
- ・ 中途半端な移行ではなく、項目すべての点の責任を地域が負ってほしい。学校は一切の責任を負わないところまでなればよい。

5. 部活動地域移行になった場合に期待することは何ですか。※複数回答可

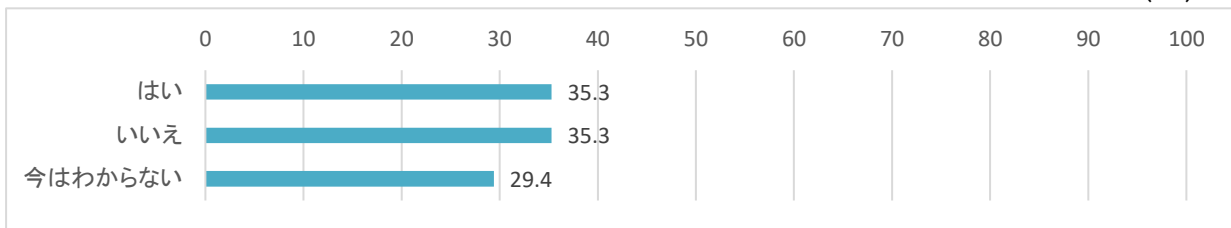
教員の負担軽減	14人	34.1%
生徒が希望する専門的な指導が受けられる	11人	26.8%
生徒の技術向上	7人	17.1%
多世代の地域住民との交流	6人	14.6%
他校の生徒との交流	1人	2.4%
その他	0人	0%
特に期待していない	2人	4.9%
合計	41人	99.9%



6. 土日祝日の地域移行になった場合、関わりたいですか。

はい	6人	35.3%
いいえ	6人	35.3%
今はわからない	5人	29.4%
合計	17人	100%

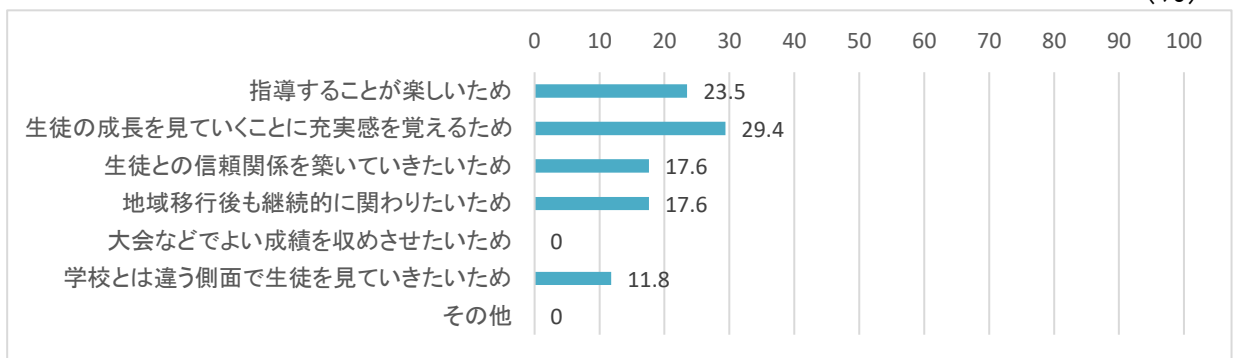
(%)



7. 問6で【はい】の回答のみ。関わるとしたらどのような理由ですか。※複数回答可

指導することが楽しいため	4人	23.5%
生徒の成長を見ていくことに充実感を覚えるため	5人	29.4%
生徒との信頼関係を築いていきたいため	3人	17.6%
地域移行後も継続的に関わりたいため	3人	17.6%
大会などでよい成績を収めさせたいため	0人	0%
学校とは違う側面で生徒を見ていきたいため	2人	11.8%
その他	0人	0%
合計	17人	99.9%

(%)



8. 全体を通して部活動の地域移行について感じること。(自由回答)

- ・ 地域が舵をきって大胆に進めていって構わないと考えます。そのために必要なことは積極的に協力させていただきたいと思います。
- ・ 良いことだと思います。教員が部活動を担当することは長い間、本来の勤務に関係のないよくない習慣でした。教科書等本来、教師が最も時間とエネルギーを使うべきことに集中して取り組むことができなくなっており、学力低下の主要な原因になっています。生徒が部活動に多くの時間を使っていることも問題だと思います。
- ・ 教員の負担減になると思うが「部活動」という大事な生徒との時間がないのも難しいなと思う。
- ・ 働き方改革が進んでいることに嬉しく思います。地域移行が実現すれば一部の教師が感じている「やらされている」感が「やりたくてやっている」感になり、より生徒のためになる部活動につながればと思います。
- ・ 競技等の指導、事務処理、人間関係のトラブル等、一切の責任を負わないところまで移行するのがベストだと思いますが、実情はそうならないので実質地域の人々とのやりとりが発生して負担が更に増えることが予想されます。改悪にならないことを望みます。
- ・ 大会の引率については地域移行になった場合も教員がする必要があるのではないかと。競技によっては土日のどちらかが大会、どちらかが休日となることが多く通常の練習を土日に行うことが少ないための地域移行の成果が感じられないのでは。
- ・ 早急に進めてほしいです。

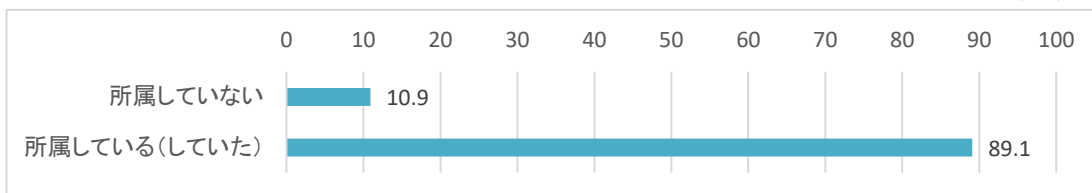
中学校部活動の地域移行についてアンケート集計(生徒)

- 配布部数 143部
- 回収部数 128部 (回収率 89.5%)

1. あなたは今、学校の部活動に所属していますか。

所属していない	14人	10.9%
所属している(していた)	114人	89.1%
合計	128人	100%

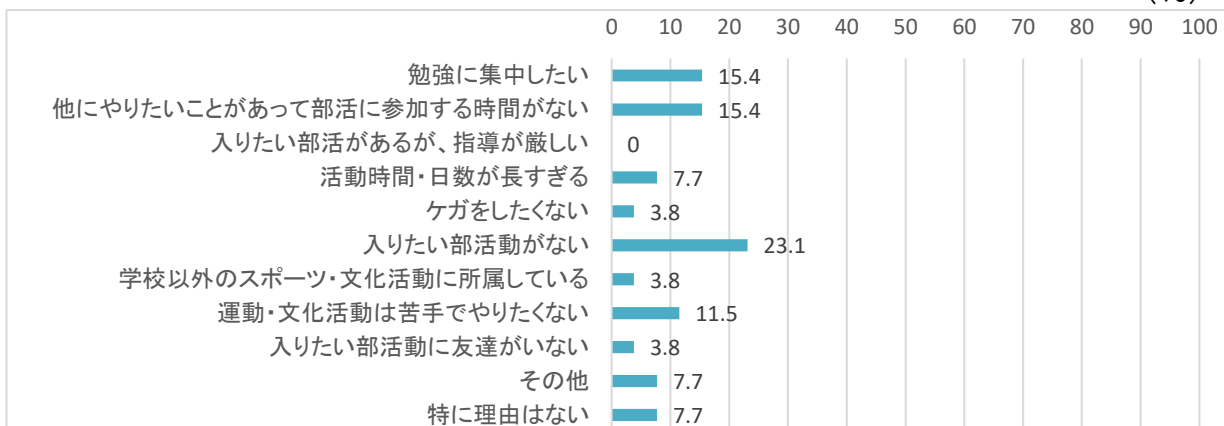
(%)



2. 【学校の部活動に所属していない生徒】のみ回答。所属していない理由。※複数選択可

勉強に集中したい	4人	15.4%
他にやりたいことがあって部活に参加する時間がない	4人	15.4%
入りたい部活があるが、指導が厳しい	0人	0%
活動時間・日数が長すぎる	2人	7.7%
ケガをしたくない	1人	3.8%
入りたい部活動がない	6人	23.1%
学校以外のスポーツ・文化活動に所属している	1人	3.8%
運動・文化活動は苦手ですやりたくない	3人	11.5%
入りたい部活動に友達がいない	1人	3.8%
その他	2人	7.7%
特に理由はない	2人	7.7%
合計	26人	99.9%

(%)



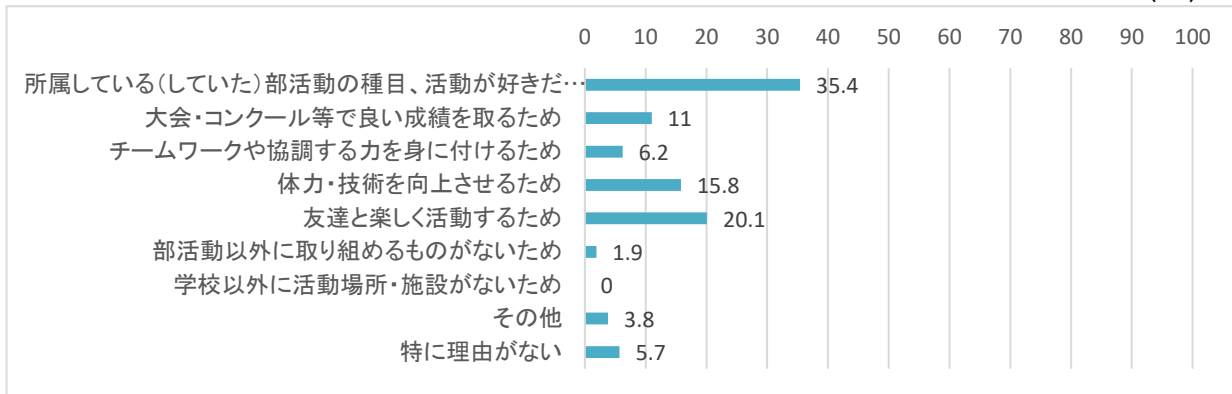
【その他】

- ・ 苦手種目のところに友達がいます。

3. 【学校の部活動に所属している(していた)】生徒のみ回答。所属していた理由。※複数選択可

所属している(していた)部活動の種目、活動が好きだから	74人	35.4%
大会・コンクール等で良い成績を取るため	23人	11%
チームワークや協調する力を身に付けるため	13人	6.2%
体力・技術を向上させるため	33人	15.8%
友達と楽しく活動するため	42人	20.1%
部活動以外に取り組めるものがないため	4人	1.9%
学校以外に活動場所・施設がないため	0人	0%
その他	8人	3.8%
特に理由がない	12人	5.7%
合計	209人	99.9%

(%)



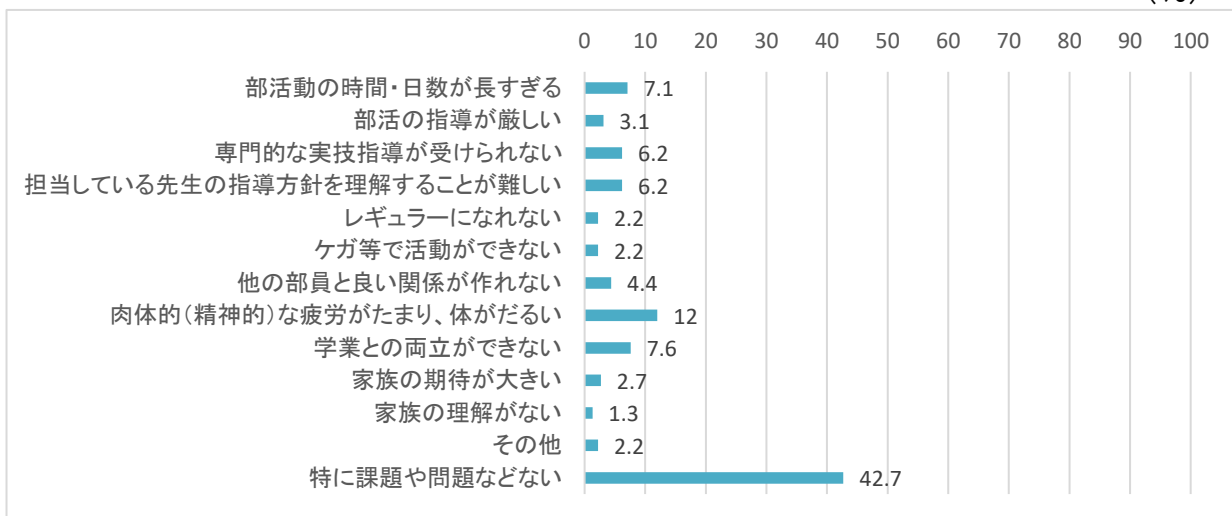
【その他】

- ・ 親に入れられた
- ・ 小学校からやっていた
- ・ 精神面で成長するため
- ・ 兄が陸上をやっていたのでやりたくなった。
- ・ 小学校の退団式で続ける。と、言ってしまったから入らないのは後ろめたさがあった。
- ・ 知っている人がいて、少し経験があったから。
- ・ 兄弟がやっていたから
- ・ テニス部がなかったから

4. 【学校の部活動に所属している(していた)生徒】のみ回答。中学校の部活動での課題や問題。※複数選択可

部活動の時間・日数が長すぎる	16 人	7.1 %
部活の指導が厳しい	7 人	3.1 %
専門的な実技指導が受けられない	14 人	6.2 %
担当している先生の指導方針を理解することが難しい	14 人	6.2 %
レギュラーになれない	5 人	2.2 %
ケガ等で活動ができない	5 人	2.2 %
他の部員と良い関係が作れない	10 人	4.4 %
肉体的(精神的)な疲労がたまり、体がだるい	27 人	12 %
学業との両立ができない	17 人	7.6 %
家族の期待が大きい	6 人	2.7 %
家族の理解がない	3 人	1.3 %
その他	5 人	2.2 %
特に課題や問題などない	96 人	42.7 %
合計	225 人	57.2 %

(%)

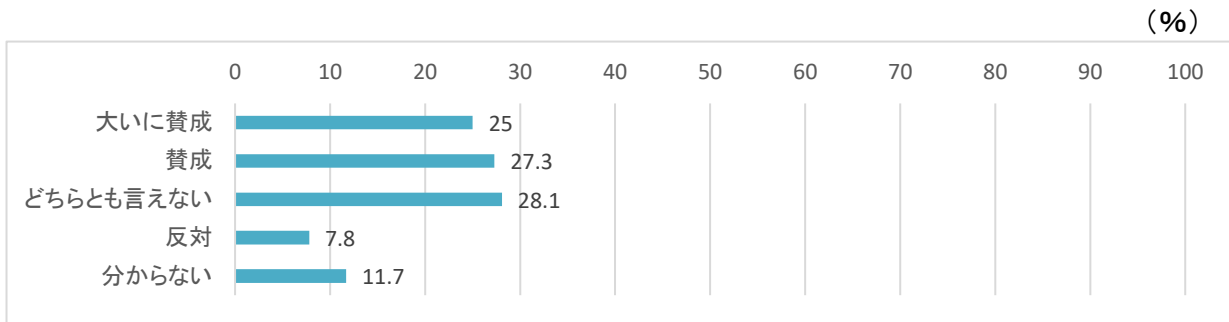


【その他】

- ・ 指導者が少ない。
- ・ 指導方針に納得がいかない。
- ・ 内容が覚えられないものがある。
- ・ 先生と合わない。

5. 【全ての生徒】が回答。土日祝日の部活動を学校の先生以外の地域の指導者が指導することについて

大いに賛成	32 人	25 %
賛成	35 人	27.3 %
どちらとも言えない	36 人	28.1 %
反対	10 人	7.8 %
分からない	15 人	11.7 %
合計	128 人	99.9 %



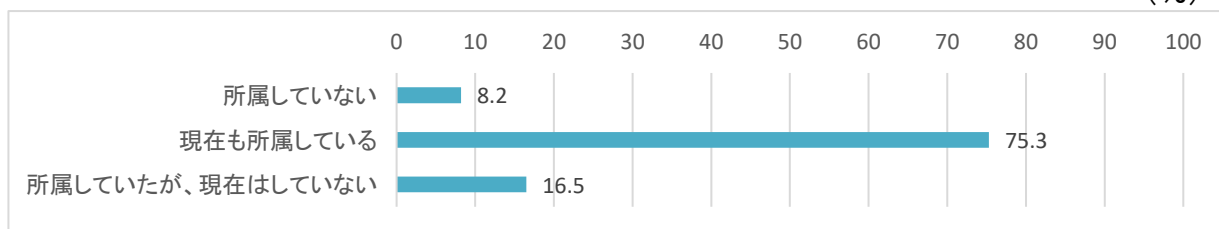
中学校部活動の地域移行についてアンケート集計(保護者)

- 配布部数 143部
- 回収部数 97部 (回収率 67.8%)

1. お子さんは部活動に所属していますか(していましたか)。

所属していない	8人	8.2%
現在も所属している	73人	75.3%
所属していたが、現在はしていない	16人	16.5%
合計	97人	100%

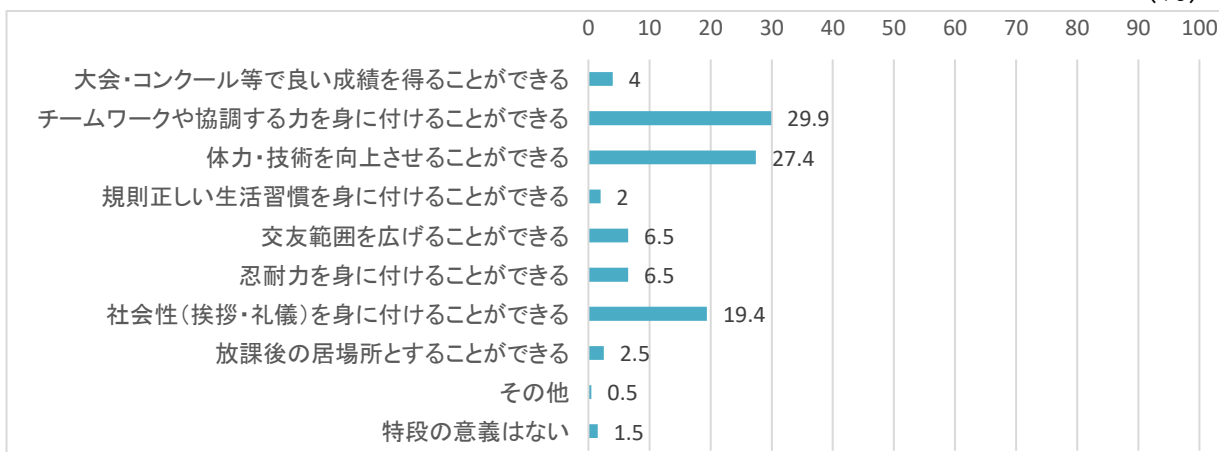
(%)



2. 学校の部活動で意義のあるものは何だと思えますか。※複数回答可

大会・コンクール等で良い成績を得ることができる	8人	4%
チームワークや協調する力を身に付けることができる	60人	29.9%
体力・技術を向上させることができる	55人	27.4%
規則正しい生活習慣を身に付けることができる	4人	2%
交友範囲を広げることができる	13人	6.5%
忍耐力を身に付けることができる	13人	6.5%
社会性(挨拶・礼儀)を身に付けることができる	39人	19.4%
放課後の居場所とすることができる	5人	2.5%
その他	1人	0.5%
特段の意義はない	3人	1.5%
合計	201人	100.2%

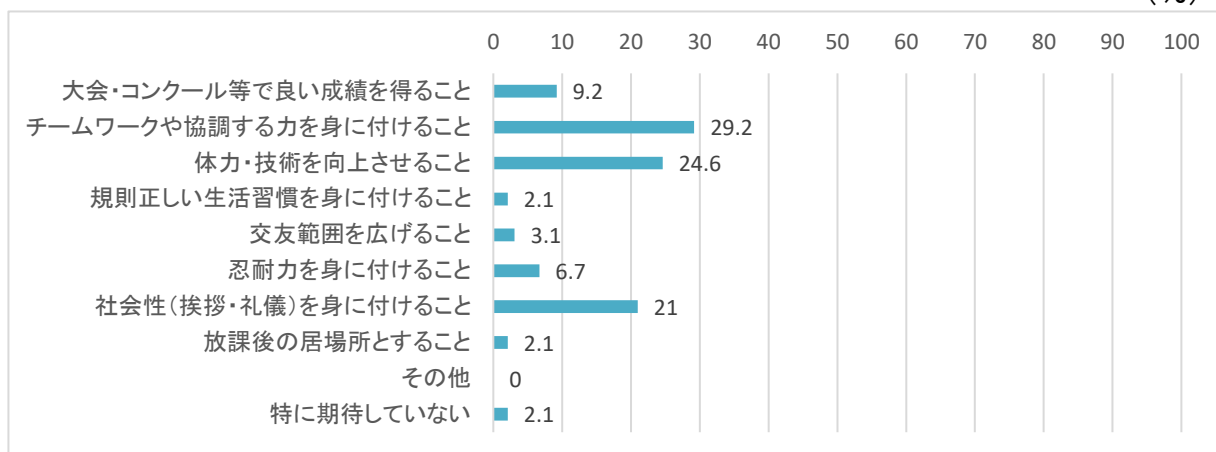
(%)



3. 部活動で期待することは何だと思えますか。※複数回答可

大会・コンクール等で良い成績を得ること	18人	9.2%
チームワークや協調する力を身に付けること	57人	29.2%
体力・技術を向上させること	48人	24.6%
規則正しい生活習慣を身に付けること	4人	2.1%
交友範囲を広げること	6人	3.1%
忍耐力を身に付けること	13人	6.7%
社会性(挨拶・礼儀)を身に付けること	41人	21%
放課後の居場所とすること	4人	2.1%
その他	0人	0%
特に期待していない	4人	2.1%
合計	195人	100.1%

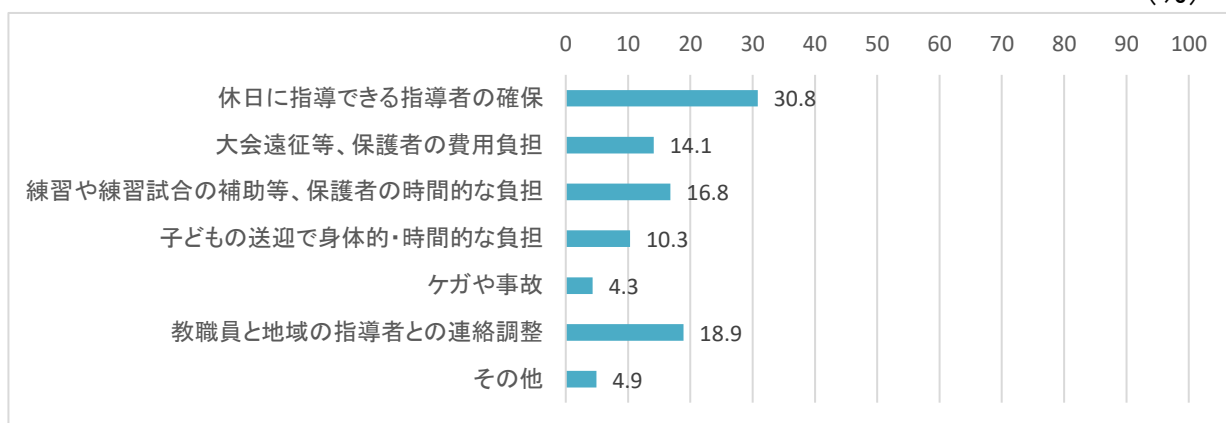
(%)



4. 部活動を地域移行する際の問題点は何だと思えますか。※複数回答可

休日に指導できる指導者の確保	57人	30.8%
大会遠征等、保護者の費用負担	26人	14.1%
練習や練習試合の補助等、保護者の時間的な負担	31人	16.8%
子どもの送迎で身体的・時間的な負担	19人	10.3%
ケガや事故	8人	4.3%
教職員と地域の指導者との連絡調整	35人	18.9%
その他	9人	4.9%
合計	185人	100.1%

(%)



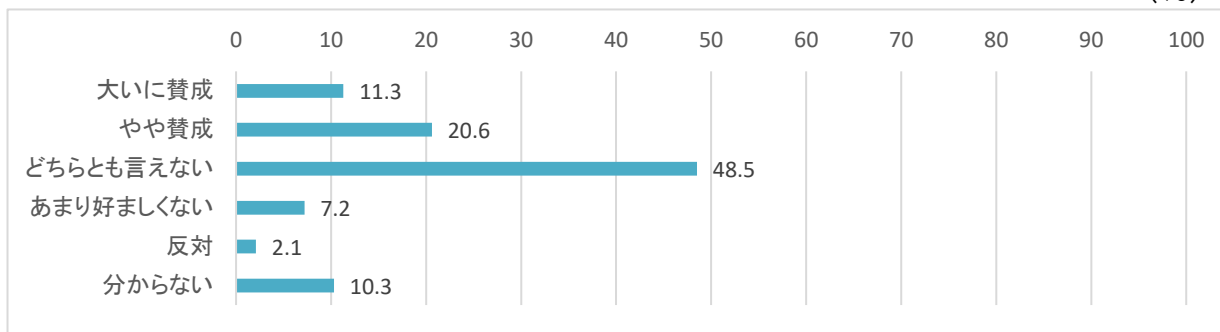
【その他】

- ・ 指導者がワンマンになりそう。
- ・ 指導に一貫性がなくなり子供たちが混乱しそう。
- ・ 指導者の経費、公的大会に出場する際の様々な決定権について。
- ・ 具体的に何が変わるのかが不明点が多く、問題が見出せない。
- ・ 吹奏楽部の場合は、地域移行ができるか想像がつかない。
- ・ 指導者の人間としての質。
- ・ 問題点全て当てはまる。今までも地域の方が指導に来ているところを見たことあるが、忙しいなどでなかなか来ていただけないことも多く見られた。

5. 土日祝日の部活動を地域の指導者が指導することについて。

大いに賛成	11人	11.3%
やや賛成	20人	20.6%
どちらとも言えない	47人	48.5%
あまり好ましくない	7人	7.2%
反対	2人	2.1%
分からない	10人	10.3%
合計	97人	100%

(%)



【大いに賛成・やや賛成】

- ・部活のために教員の皆さんの負担が大きい事を聞いたりするが、地域の指導者がいるかどうかもわからない。
- ・専門的なことをしていただけたらと思いますし、技術の向上にもつながると思います。
- ・専門的な技術指導を受けられるから(そのような先生がいたりこちらから地域の方を希望できたらよい)学校の先生の負担も減るから。
- ・先生の負担が大きすぎる。そもそも部活動が将来につながるのはごく一部ののに一生懸命になりすぎ。やりたい人がやればいいし選択肢をもっと増やすべき。絵とか書道とか個人で習って頑張れば良いと思う。学校の中にこだわると視野が狭くなるし、学校に求めるのもおかしいと思う。
- ・指導者と教職員と変わることでの子供への対応がどうなるのかなと少し心配のため。
- ・教職員の方の負担を減らせる。
- ・小中高の区分にとらわれずそれぞれの分野を得意とする指導者が小学生～高校生まで幅広く指導すれば技術体力等の向上につながると思います。
- ・教職員の負担を考えると地域移行について考えてみなければならないと思うから。
- ・指導者の考え次第。誰に指導をお願いするかによって全く異なる方向を向く可能性があるから。
- ・教員の負担が大きい。
- ・専門の指導者による指導で技術の向上が期待できる。
- ・地域の方が活躍できる場の提供。
- ・少年団で指導して頂いた先生方が協力して頂けるなら大変うれしく思う。
- ・先生方の負担を軽減するためには必要。ただ、現実的に実現するには課題が多そう。
- ・教職員の負担が減るから。
- ・先生方の負担軽減と子供たちの技術向上につながるため。
- ・中学校には文化部・サークル(文科系)が存在しないのでスポーツ分野での活動しかスポットライトが当たらない為、活動の幅が広がることは良いことだと思うため。
- ・教職員の方々が負担減ることは良いことだと思っているが先生との信頼関係を築くことは生徒にとって大切なことだと思うので指導を受ける子供の思いや心を一番に考え進めてほしいと思います。
- ・先生の負担が減る。やる気のある専門家に任せるのが良いと思います。
- ・先生方の負担を減らしたいと思っています。地域で協力できることはしたいともっています。
- ・学校以外の人たちと一緒にすることで社会性、協調性を身に付けることができるのでは。技術もよくなるのでは。
- ・教員に(土・日・祝日)休んでほしいが実際に指導者がどのくらい地域にいるのか不明。質が確保されるのか疑問
- ・教員の休日を確保する。

【どちらとも言えない】

- ・具体的なことがまだわからないので。
- ・教員の負担を減らしたいが、指導者を信頼できるか生徒が公平性に指導されているか不安なところがある。
- ・指導者と顧問の先生との連携がきちんとなっていて両者の練習内容や大会などの方向性がちゃんとなっているのであればいいのですが、現実的にやってみないとわからないかな?と、思います。一番は子供たちがきちんとやれるのかが問題だと思います。
- ・休日に教職員の方々に対応していただくのはありがたく申し訳なく思っています。地域に移行して指導者の方がいるのかもわからないので何とも言えません。
- ・都合が悪い時もある。
- ・教員の負担軽減には賛成だが、指導者の確保や財源などの問題も多くまだ地域移行のイメージがわからないから。
- ・教職員が指導を継続したいと思っているならそのまま継続してもいいと思います。そういう先生方もいるのでは。
- ・家庭の用事もあるため
- ・メリット、デメリットがどちらにもあると思うので。
- ・土日祝日は大会や試合がなければ休みにするといいかと思います。
- ・先生の負担が減るのは良いと思うが平日、土日で指導の仕方が変わってしまうのではないかと心配。
- ・これまでも、外部の先生や各先生が指導をしに来てくれて刺激になっていたようでした。このような形でしたら今後も大歓迎です。楽器の移動も大変ですし、保護者のかかわりなどは嫌がる年頃でしょうし、どのような移行が可能か疑問もあります。
- ・大会以外の日祝日の部活動を休みにしてほしい。子供の休日はほしい。
- ・各活動にそった指導ができると思いますが、指導者の確保が難しいと思います。

- ・ 自分は指導者なることはないので何とも言えません。
- ・ 指導者の指導力と子供たちとの信頼関係が必要。
- ・ 部活動として指導している先生と、外部コーチとして指導してくれる先生がきちんと同じ方向性で考えているなら問題はないが、やってみないとわからないので何とも言えない。

【あまり好ましくない・反対】

- ・ 部活へは自分自身の意思で入っています。それは信頼している先生方がいらっしゃる点も一つの理由です。地域の指導者になってもその指導者と先生の間にもいろいろ打ち合わせも必要になるでしょうし、一見、先生の負担が減るように見えますが指導者によってはやりずらくなるかもしれないことを心配します。先生の指導に納得できない子は外部指導員に馴染めたとして部活にしか来ない子を増やしてしまうのではないかという心配もあります。
- ・ 指導者の確保だったり、大会などの移動。
- ・ 教員のように子供たちを思って理解することが難しいと思われる。(少年団に教員がおらず保護者の負担が多かった)
- ・ 指導者の資質や教職員と指導者との考え方の差が心配。また、保護者の負担。

【わからない】

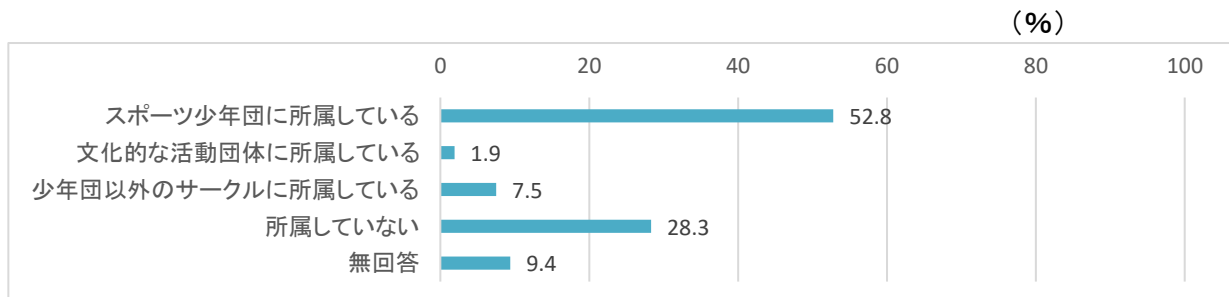
- ・ どちらでもかまわない。
- ・ 今のままだと先生方の負担が多いし、移行すると保護者の負担が増えそうなのでどちらが良いのかわからない。

中学校部活動の地域移行についてアンケート集計(5・6年保護者)

- 配布部数 94部
- 回収部数 53部 (回収率 56.4%)

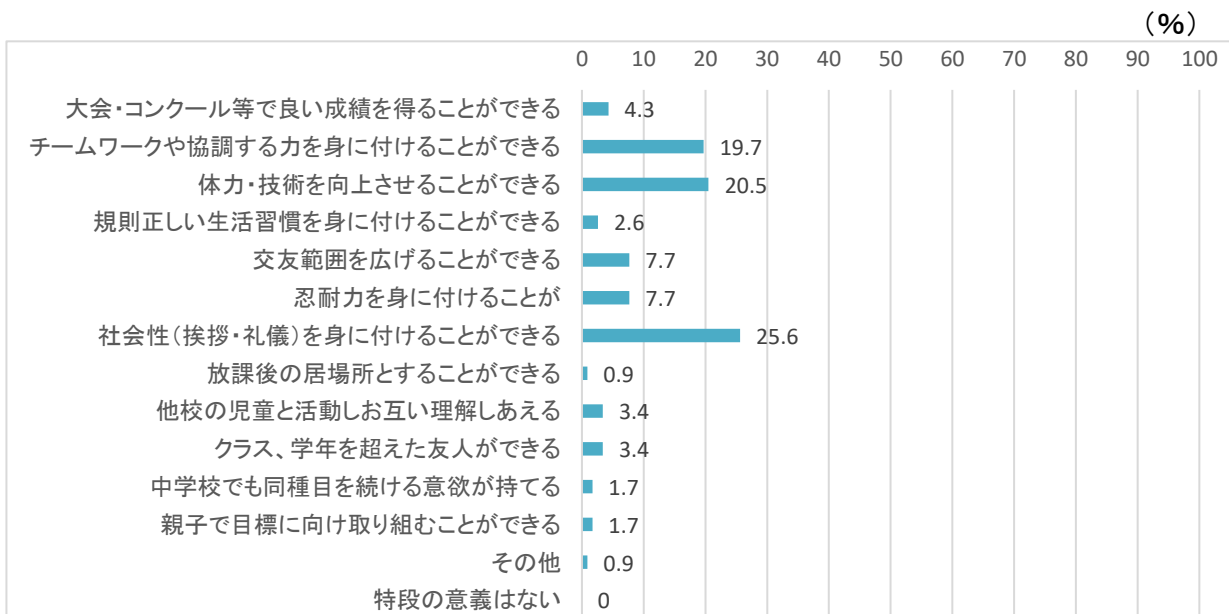
1. お子さんはスポーツ少年団・文化サークル等の地域活動に所属していますか。

スポーツ少年団に所属している	28人	52.8%
文化的な活動団体に所属している	1人	1.9%
少年団以外のサークルに所属している	4人	7.5%
所属していない	15人	28.3%
無回答	5人	9.4%
合計	53人	100%



2. 地域の活動で意義のあるものは何だと思えますか。※複数回答可

大会・コンクール等で良い成績を得ることができる	5人	4.3%
チームワークや協調する力を身に付けることができる	23人	19.7%
体力・技術を向上させることができる	24人	20.5%
規則正しい生活習慣を身に付けることができる	3人	2.6%
交友範囲を広げることができる	9人	7.7%
忍耐力を身に付けることが	9人	7.7%
社会性(挨拶・礼儀)を身に付けることができる	30人	25.6%
放課後の居場所とすることができる	1人	0.9%
他校の児童と活動しお互い理解しあえる	4人	3.4%
クラス、学年を超えた友人ができる	4人	3.4%
中学校でも同種目を続ける意欲が持てる	2人	1.7%
親子で目標に向け取り組むことができる	2人	1.7%
その他	1人	0.9%
特段の意義はない	0人	0%
合計	117人	100.1%



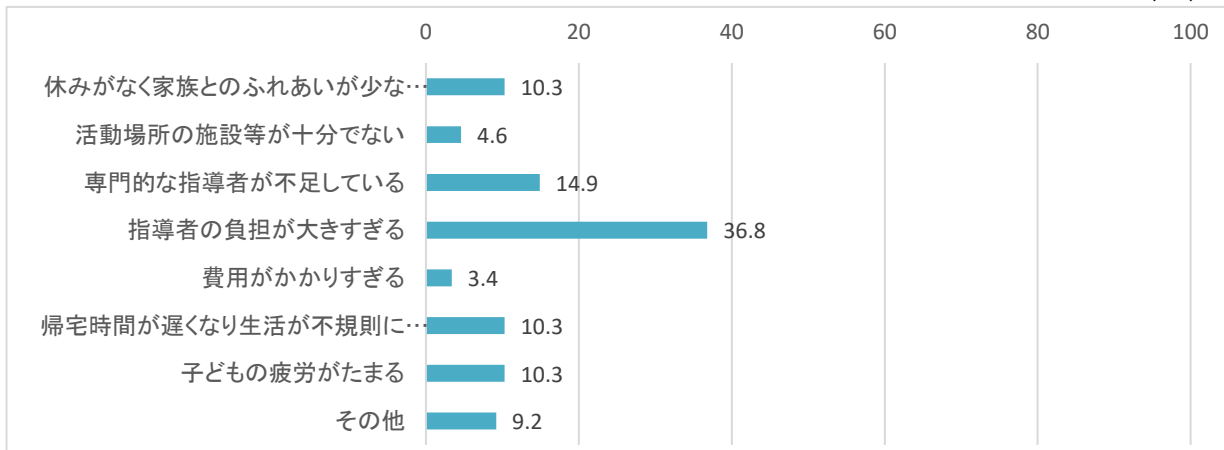
【その他】

- ・ 全て当てはまります。感謝でいっぱいです。

3. 地域の活動での問題点は何だと思えますか。※複数回答可

休みがなく家族とのふれあいが少なくなる	9人	10.3%
活動場所の施設等が十分でない	4人	4.6%
専門的な指導者が不足している	13人	14.9%
指導者の負担が大きすぎる	32人	36.8%
費用がかかりすぎる	3人	3.4%
帰宅時間が遅くなり生活が不規則になる	9人	10.3%
子どもの疲労がたまる	9人	10.3%
その他	8人	9.2%
合計	87人	99.8%

(%)



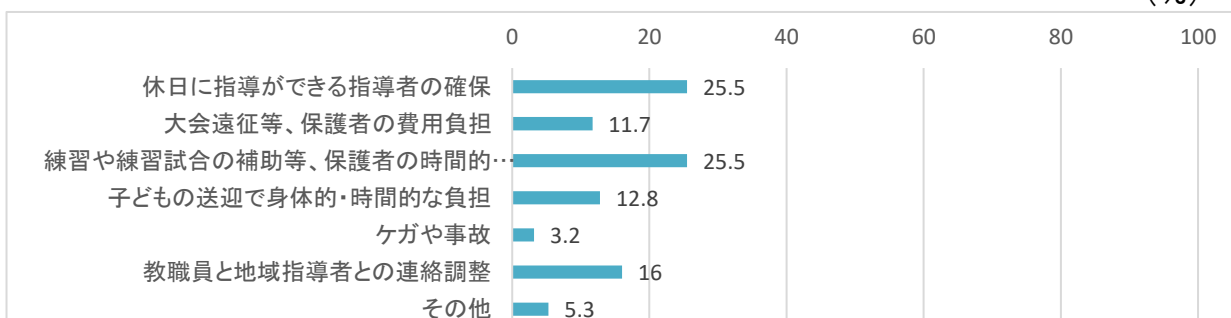
【その他】

- ・ 親の仕事内容によって、親が活動に参加することができず一部の保護者にばかり負担が集中する。
- ・ 親の負担(送り迎えなど)
- ・ 子供の送迎不能により、通わせたくてもあきらめている家庭が多いこと。
- ・ 保護者役員の負担が大きいこと。
- ・ 練習試合の送迎が負担。
- ・ 僻地は送迎の時間的負担がある。
- ・ 通うには遠すぎる。送迎の負担。(片道だけでも町のバスがあればよいのに)
- ・ 勉強との両立
- ・ 本人がやりたくても日々の送迎対応が難しくやらせてあげられない場合がある。
- ・ 団費などお金に関する価値の違い、やる気のない子どもを通わせている。
- ・ 役員などの保護者の負担の格差。

4. 地域移行する際に問題となることは何だと思えますか。※複数回答可

休日に指導ができる指導者の確保	24人	25.5%
大会遠征等、保護者の費用負担	11人	11.7%
練習や練習試合の補助等、保護者の時間的な負担	24人	25.5%
子どもの送迎で身体的・時間的な負担	12人	12.8%
ケガや事故	3人	3.2%
教職員と地域指導者との連絡調整	15人	16%
その他	5人	5.3%
合計	94人	100%

(%)

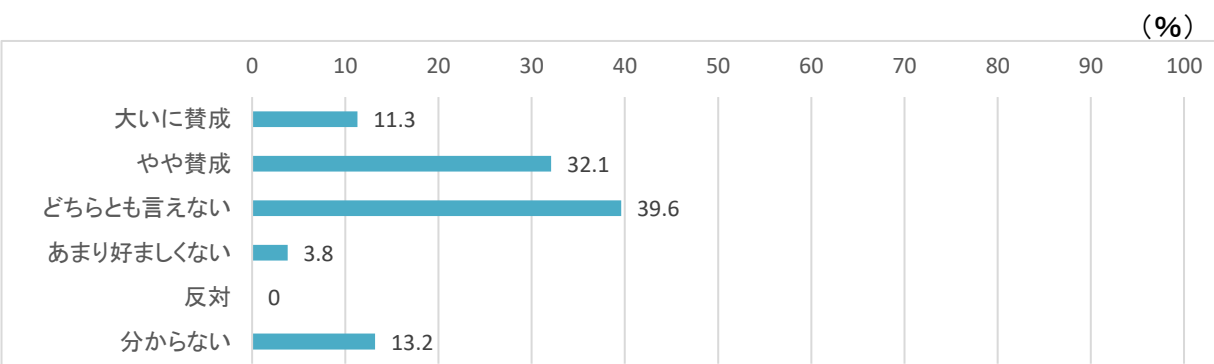


【その他】

- ・ 今までの中学校の部活動の状況を把握できていないので想像でしか回答できません。地域移行により、設問のような問題が発生するかと思うと不安が増えました。
- ・ よくわからない。
- ・ 熱中症
- ・ そもそも指導者になってくれる人がいるのか心配。
- ・ 中学校と小学の後援会の在り方や連絡調整など。
- ・ 専門的知識のある指導者の確保が難しい。

5. 土日祝日の部活動を地域の指導者による活動に移行することについて。

大いに賛成	6人	11.3%
やや賛成	17人	32.1%
どちらとも言えない	21人	39.6%
あまり好ましくない	2人	3.8%
反対	0人	0%
分からない	7人	13.2%
合計	53人	100%



【大いに賛成・やや賛成】

- ・ 地域の子供は家庭の枠を超えて大人みんなで育てていくべきだと考えているから。
- ・ 先生の負担軽減。
- ・ 子どものやりたい部活動が中学校にはないので好きなことをやれるようになるかもしれない。選択肢も増える。教職員の負担が軽減されると思う。
- ・ 自分にあったクラブチームや指導者のもとで活動ができるため。
- ・ 教職員の負担が大きすぎると感じていたため。
- ・ 中学校の指導者(顧問の先生)の負担が今まではかなり大きかったので、それを軽減と専門的な知識、技術のある方に継続して指導して頂けることは大いに有難いと思います。
- ・ 先生の負担が減ることはよいことだと思うが子供にとって指導者との信頼関係を築くことは大切だと思うのでどのように指導者を確保していくのか中学生の立場や気持ちを一番に考えて進めていってほしいと思います。
- ・ 学校の先生以外の大人の方と接するいい機会となるため。
- ・ そのスポーツに対して理解のある人が指導するのはよいことだと思う。
- ・ いろいろな選択肢があつていいと思います。
- ・ より知識、技術のある指導者に教えて頂けるのはとてもありがたいです。
- ・ 送迎等の負担が増し、やりたくても家事の事情でできないケースが増えるのでは。。。
- ・ 教育に力を入れてくださるならそちらの方がいいと思う。
- ・ 先生方の負担が減るとともに大会応援等地域ぐるみで周知できるようなるのでは。と思います。
- ・ 先生方の負担軽減と子供たちの技術向上につながるため。
- ・ 先生の負担が減る。

【どちらとも言えない】

- ・ 指導者の育成がきちんとできるのか。メンタル部分の育成、公平性が保たれているのか。
- ・ 指導者の負担を考えるとどちらとも言えません。家族、自分の時間も大切だと思います。指導してくださるのはとても嬉しくいつも毎日感謝しています。
- ・ 先生の負担を考えると移行することは大いに賛成ですが、指導力の低下や仲間内でのめもごとがあつた際などが不安です。
- ・ 指導を担ってくれる方の負担も心配です。
- ・ 部活動と学校の行動などの連携がちゃんととれるかが心配。
- ・ 土日祝日は別の指導者というのがどのような状況になるのかイメージできません。指導者の方々の意見も聴かせていただきたいです。

- ・ 少年団参加児童数は少ないように思えるのですが。。参加できない理由、参加しない理由の調査はされたことがありますか？もしあるようであればその結果を反映させ検討していただけたら幸いです。現状の少年団のようなイメージを進めていくと中学部活に参加できる児童数が減ってしまうのではないかと心配になります。
- ・ 土日祝日は部活を休みにすれば指導者も休めるのでは。
- ・ 大会遠征などの送迎や練習試合の補助など時間や費用の負担が増えるのは頭が痛い。一方で子どもにはスポーツを通じて色々と学んでもらいたい気持ちもある。
- ・ 平日、休日で指導者が違うことで指導方針にばらつきが出た場合、子どもたちが戸惑わないか心配。
- ・ 送迎が必要な場合、参加ができないことが多くなると思います。僻地からの送迎バスなど町の子と変わらない環境を整えてほしいです。

【あまり好ましくない・反対】

- ・ 指導者が学校の先生であるメリットは大きいと感じるので。
- ・ 各部活動(サッカー・バレー・バドミントン・卓球等)の指導者の確保ができるのかが心配。

【分からない】

- ・ 受け皿のない部活もあるのかなと思ったり、大人数となることや技術的・体力的格差のあるなかでどのように運営するのか見えない。
- ・ 教員の方々に週休が必要なことは理解できます。今の状況が良いとは思えません。

(2) 足寄町教育大綱について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第2項の規定に基づき、足寄町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることについて、下記のとおり協議する。

記

足寄町教育大綱は第6次足寄町教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)をもって代える。

(3) 令和6年度主な総合計画計上事業について

単位：千円

所 管	事 業 名	事 業 内 容	事業費
教育総務室	校舎等施設整備事業	螺湾小学校の屋体改修 (床フローリング改修)	18,632
	教育機器整備事業	校務用パソコン等の更新 足寄小学校パソコン入替 全校センターサーバー化	23,048
	足寄高等学校海外研修 派遣事業	高校1年生を本町の姉妹都市であるカナダ・アルバータ州ウェタスキウイン市へ派遣 ※令和5年度より2年生を派遣	33,256
生涯学習室	総合体育館・温水プール長寿命化改修事業	温水プールの内部改修 (採暖室ベンチ改修) 温水プール照明LED照明化	44,829

※ 事業費が大きな主な計画

(4) その他